



7月号

平成15年

ていね通信

ボランティアグループ
「りらの会」



▲エプロン姿の方が「りらの会」の皆さん。平成14年には札幌市福祉ボランティア貢献賞を受賞

お互いを思いやる心をはぐくみたい



▲どのおもちゃで遊ぶか、迷っちゃうね

「りらの会」は、身体の不自由な子どもにも、健常な子どもにも、おもちゃで遊びながら、お互いを思いやる心をはぐくんでもらおうと、「手稲区おもちゃ図書館」を運営しているグループです。この図書館は、手稲コミュニティセンターで毎月第1・3火曜日に開かれています。

「おもちゃ図書館では、手作りも含めたくさんのおもちゃを用意しています。この場で楽しく遊び、子どもたちと、お母さんたちの触れ合いの輪が広がってほしい」と、代表の藤原万亀さん。

りらの会の皆さんは、「最近では核家族が多くなっています。わたしたちがほんのひとつきでも、普段接することが少ないおじいちゃん、おばあちゃん役になれたら」と、たくさんの親子を優しく見守りながら話してくれました。